

特別講座

「3・11」から
5年

大地の歴史と私たちの暮らし

— 慶長豊後地震と別府湾の海底地形調査 —

日時 平成28年**3月11日(金)** 13時半～

場所 **豊の国情報ライブラリー2階 視聴覚ホール**

講座 竹村 恵二(京都大学大学院理学研究科地球熱学研究施設)
「日本列島と大分 一別府-万年山断層帯と南海トラフ」

原口 強(大阪市立大学大学院理学研究科)
「別府湾に眠る沖の浜の痕跡 ー海底地形が語ることー」

櫻井 成昭(大分県立先哲史料館)
「慶長豊後地震と『語られた歴史』」

シンポジウム「慶長豊後地震と別府湾の海底地形調査」

主催／大分県立先哲史料館
京都大学大学院理学研究科地球熱学研究施設
後援／大分県・大分地方気象台・大分合同新聞社

特別講座

「3・11」から
5年

大地の歴史と私たちの暮らし

— 慶長豊後地震と別府湾の海底地形調査 —

日本は、世界有数の地震国です。

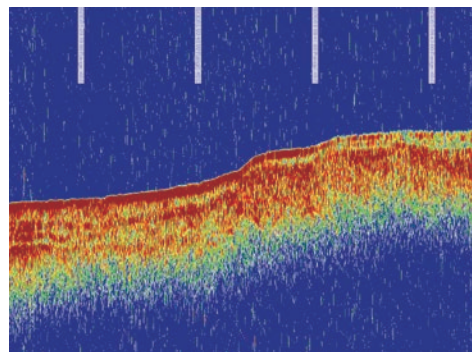
2011年3月11日におきた東日本大震災から5年。

全国各地で防災や減災のためのさまざまな取り組みが行われています。その中で、過去にどのような地震があり、どのような被害があったのか、古文書などの歴史資料を収集・分析することは、大切な事柄です。古文書は、過去を知る上で窓口となるからです。

大分県立先哲史料館では、京都大学大学院理学研究科地球熱学研究施設等による「別府-万年山断層帯」の調査の一環として、慶長豊後地震に関する歴史資料の調査を実施しております。この講座は、別府湾での海底地形調査をはじめ、慶長豊後地震に関する成果について紹介し、今回の調査がどのような内容で、何が明らかになってきたのかをお知らせするものです。

地震などの被害予測にとって、過去を知ることは現在そして未来の方々の生命を守ることに繋がります。この講座が、地震と津波に関する知識、防災・減災への意識を深めていただくきっかけとなれば幸いです。

主 催 者



「流れ山」を横切る海底地層探査断面



地層採取に用いた大型クレーン船



海底地すべりによる多数の「流れ山」が確認される大分市沖の海底地形

※調査写真・図版提供／原口 強氏



「柴山勘兵衛記」(大分県立先哲史料館蔵)



問い合わせ先



豊の国情報ライブラリー

大分県立先哲史料館

〒870-0008 大分市王子西町 14 番 1 号

TEL 097-546-9380 FAX 097-546-9389

<http://kyouiku.oita-ed.jp/sentetusiryokan-b/>

E-mail: a31710@pref.oita.lg.jp

◆この講座は、文部科学省委託研究業務「別府-万年山断層帯(大分平野-由布院断層帯東部)における重点的な調査観測」の成果に基づくものです。